

基本地図をつくる2 「地域の構造」の確認

地域の構造を再確認します。地図を見やすくする作業です。鉄道や河川・道路・施設等を色分けします。使用する色は自由ですが、イメージしやすい色にしてみましょう。次に説明する色は、例なので、実際は何色でも大丈夫です。



鉄道

鉄道は交通の動脈です。黒色の太線でしっかりとなぞりましょう。

※工場の引き込み線などの線路軌道も対象としましょう。

主要な道路

国道や県道など広い道路から順番に、路肩を茶色の太線でなぞりましょう。

※進めていくと、道路に区切られてブロックが目立つようになってきます。

路地・狭い道路

道幅が狭く消防車や救急車が入れないような道を、ピンク色の太線でなぞりましょう。また多くの場合で古い木造住宅が密集している地域でもあり、家屋の倒壊やそれにより出火・延焼、避難路の封鎖等の危険性が高いです。

※ピンク色が密集する地域は災害時に緊急車両の通行が難しい地域です。

広場・公園・神社・仏閣・空き地など

避難所に指定はされていないが、災害時に一時的に避難できそうな場所を緑でぬりましょう。

水路・用水・河川

水路・用水路・小河川等の自然水利や大きい河川、海岸線を青色の太線でなぞります。また地下水利用が出来る場所も記すといいでしょう。

※水道が使えなくなったときの、消火用水や生活水の入手場所を把握します。

延焼火災時に延焼を防ぐと思われる

延焼火災時に延焼を止めてくれそうな鉄筋コンクリート造の建物(ビルやマ

ンションなど)を、紫色でぬりましょう。

※延焼火災とは、出火原因の建物のみで火災が鎮火せず他の建物へ燃え広がる火災を言う。

※木造住宅の密集地に鉄筋コンクリート造の建物があると、延焼を食い止めることができるかもしれません。